

サービスめざす

報システム完成

町では、効率的な行政事務処理を進めようと、二年前にアロジエタチームを結成。昨年四月からは、電算機を設置し町独自の電算システム導入に取り組んできました。これは、時代の要請に即応する事務処理で、より正確な最新情報によって住民サービスを向上させ



完成を祝ってのテープカット

ることが大きなねらいとなつていきます。四月六日には、この電算システムの開始式が行われ、富岡町長が自らの住民票作成のため、入力キーを押してシステムの本格稼働に入りました。

住民票の発行をはじめと証明など二十以上の窓口業務が電算処理されることにより、諸証明の発行も迅速となり待ち時間が短縮されるほか、部外者に不要な情報が漏れることもなくプライバシーが保護されます。また、必要に応じて最新のデータによる資料作成が即時可能となるなど高度な利



ほしいときすぐ最新情報が



端末機によるデータ入力

用ができるようになっていきます。この電算システムの全面自主導入は、全国的には増高の傾向にあるものの、県下西町村においては例のない画期的とも言うべきシステムです。情報化社会のなかで、事務処理のコンピュータ化は不可欠であり、よ

りきめの細い住民サービスを行うためにも、電算システムの果す役割は大きく期待できるものです。さらに町では、財界会、水道・企業管理、農家台帳システムも半年度からの稼働をめざして開発を進め、さらに充実した住民サービスを図ることにしています。